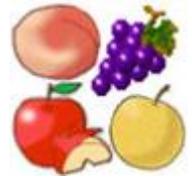


令和7年度 果樹情報 第20号

(令和8年3月25日)

果樹の発芽予測

福島県農林水産部農業振興課



1 気象概況 (3月中旬、果樹研究所)

平均気温は、3半旬が5.0℃で平年より0.3℃低く、4半旬が6.3℃で平年より0.5℃低く経過しました。

この期間の降雨はありませんでした。日照時間は92.4時間で平年比130%でした。

2 発芽状況 (3月23日現在)

農業総合センター果樹研究所(福島市飯坂町)における各品目の発芽は、もも「あかつき」は3月21日で平年より2日早くなりました(表1)。なし、りんごの発芽は、まだ確認されていません。

農業総合センター会津地域研究所(会津坂下町)における、りんご「ふじ」及びかき「会津身不知」の発芽は確認されていません(表2)。

表1 各樹種(品種)の発芽および展葉状況(農業総合センター果樹研究所)

| 樹種 | 品種 | 発芽観測日 | | | 展葉観測日 | | |
|-----|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| | | 本年 | 平年 | 昨年 | 本年 | 平年 | 昨年 |
| もも | あかつき | 3月21日 | 3月23日 | 3月24日 | — | — | — |
| | ゆうぞら | 3月21日 | 3月24日 | 3月24日 | — | — | — |
| なし | 幸水 | 未 | 3月31日 | 3月28日 | 未 | 4月12日 | 4月9日 |
| | 豊水 | 未 | 3月28日 | 3月26日 | 未 | 4月8日 | 4月7日 |
| りんご | つがる | 未 | 3月25日 | 3月25日 | 未 | 4月7日 | 4月4日 |
| | ふじ | 未 | 3月26日 | 3月26日 | 未 | 4月5日 | 4月2日 |

注) 平年は1996~2025年の平均値。

表2 各樹種(品種)の発芽および展葉状況(農業総合センター会津地域研究所)

| 樹種 | 品種 | 発芽観測日 | | | 展葉観測日 | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 本年 | 平年 | 昨年 | 本年 | 平年 | 昨年 |
| りんご | ふじ | 未 | 4月1日 | 4月2日 | 未 | 4月11日 | 4月10日 |
| かき | 会津身不知 | 未 | 4月13日 | 4月15日 | 未 | 4月27日 | 4月23日 |

注) 平年は1996~2025年の平均値。

3 発育予測

仙台管区气象台が3月19日に発表した1か月予報(3月21日~4月20日)では、今後の気温は平年より高く推移すると見込まれます。

直近の2週間気温予報では、期間を通して平年に比べて高く推移する見込みです

●東北地方1か月予報(仙台管区气象台 令和8年3月19日発表)

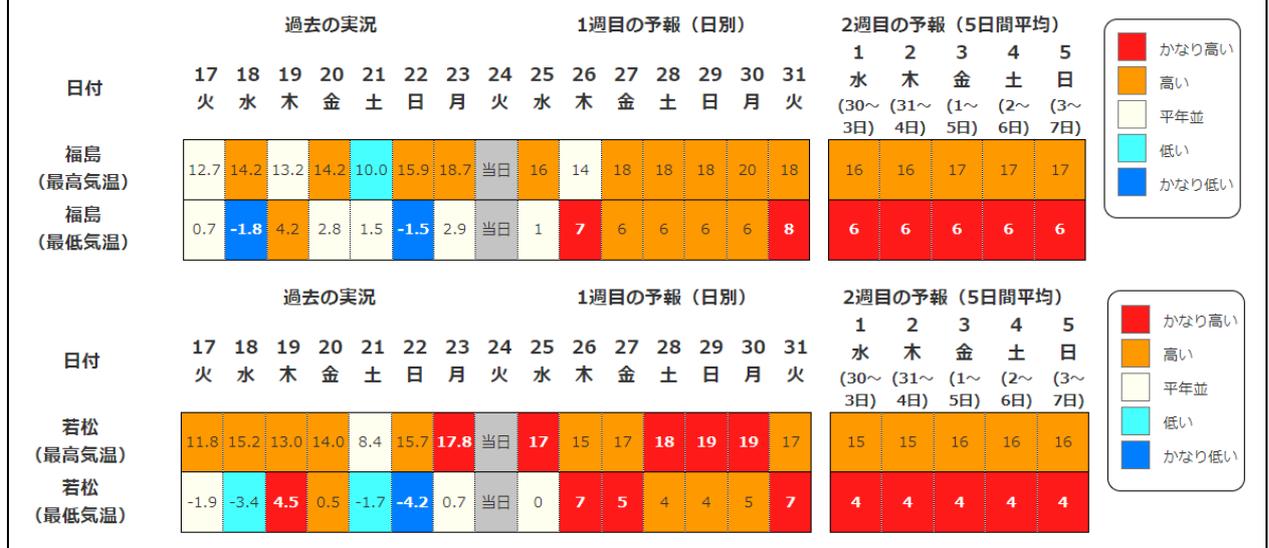
向こう1か月の平均気温は、高い確率80%です。

週別の気温は、1週目(3/21~3/27)は、高い確率80%です。

2週目(3/28~4/3)は、高い確率80%です。

3~4週目(4/4~4/17)は、高い確率70%です。

● 2週間気温予報（令和8年3月24日17時発表）



(1) 果樹研究所（3月23日現在）

果樹研究所（福島市飯坂町）における果樹の発芽は、気象庁の気温予報を反映した気象予測では、なし「幸水」が3月30日ごろで平年より1日早く、りんご「ふじ」が3月25日ごろで平年より1日早いと予測されます（表3）。

果樹研究所（福島市飯坂町）における果樹の開花は、気象庁の気温予報を反映した気象予測では、もも「あかつき」が4月9日頃で平年より3日早く、なし「幸水」が4月17日頃で平年より2日早く、りんご「ふじ」が4月23日頃で平年より1日早いと予測されます（表4）。

なお、この時期の生育は直前の気温に左右されるため注意が必要です。

表3 発芽予測日 [予測方法：発育速度（DVR）モデルによる発育予測]（果樹研究所）

| | 発芽日 | 今後の気温経過 | | | | |
|----|-------|---------|--------------|--------------|-------|-------|
| | | 昨年 | 平年 | 気象予報 | 2℃高い | 平年並 |
| 幸水 | 3月28日 | 3月31日 | 3月30日 | 3月31日 | 3月31日 | 4月2日 |
| ふじ | 3月26日 | 3月26日 | 3月25日 | 3月25日 | 3月26日 | 3月27日 |

注1) 発芽日の平年値は、1996～2025年の平均

注2) 気象予報とは、気象庁が発表する週間予報、2週間気温予報及び1か月予報気温（3～4週目）を反映し、以降の気温は平年並に経過した場合の予測値

注3) 発育予測は2～3日の誤差を生じる場合があります

表4 開花予測日 [予測方法：発育速度（DVR）モデルによる発育予測]（果樹研究所）

| | 開花日 | 今後の気温経過 | | | | |
|------|-------|---------|--------------|--------------|-------|-------|
| | | 昨年 | 平年 | 気象予報 | 2℃高い | 平年並 |
| あかつき | 4月9日 | 4月12日 | 4月9日 | 4月7日 | 4月12日 | 4月17日 |
| 幸水 | 4月17日 | 4月19日 | 4月17日 | 4月16日 | 4月20日 | 4月25日 |
| ふじ | 4月20日 | 4月24日 | 4月23日 | 4月21日 | 4月27日 | 5月3日 |

注1) 発芽日の平年値は、1996～2025年の平均

注2) 気象予報とは、気象庁が発表する週間予報、2週間気温予報及び1か月予報気温（3～4週目）を反映し、以降の気温は平年並に経過した場合の予測値

注3) 発育予測は2～3日の誤差を生じる場合があります

(2) 会津地域研究所（3月24日現在）

会津地域研究所（会津坂下町）における果樹の発芽は、気象庁の気温予報を反映した気象予測では、りんご「ふじ」が3月29日ごろで平年より3日早く、かき「会津身不知」が4月11日ごろで平年よ

り2日早いと予測されます(表5)。

なお、この時期の生育は直前の気温に左右されるため注意が必要です。

表5 発芽予測日 [予測方法: 発育速度 (DVR) モデルによる発育予測] (会津地域研究所)

| | 発芽日 | | 今後の気温経過 | | | |
|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|
| | 昨年 | 平年 | 気象予報 | 2℃高い | 平年並 | 2℃低い |
| ふじ | 4月2日 | 4月1日 | 3月29日 | 3月30日 | 3月31日 | 3月31日 |
| 会津身不知 | 4月15日 | 4月13日 | 4月11日 | 4月12日 | 4月14日 | 4月16日 |

注1) 発芽日の平年値は、1996～2025年の平均

注2) 気象予報とは、気象庁が発表する週間予報、2週間気温予報及び1か月予報気温(3～4週目)を反映し、以降の気温は平年並に経過した場合の予測値

注3) 会津身不知では3月が極端な高温で推移した場合に、予測誤差が大きくなる傾向があります

気象庁 [営農活動に役立つ気象情報] <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/nougyou/nougyou.html>

3 栽培上の留意点

(1) 防霜対策

耐凍性は生育が進むにつれて低下し、開花期から幼果期にかけて最も弱く、凍霜害の危険性が高くなるので、気象情報に十分注意し、防霜対策を徹底しましょう。

今後の気温が平年より2℃高く経過した場合には、もも、なし、りんごの開花は平年より3～5日早まる見込みです。生育ステージごとの安全限界温度を下回る温度に遭遇するおそれがある場合には速やかに防霜対策を実施しましょう。

各樹種の生育ステージ別安全限界温度は、農業振興課ホームページの技術資料「作物別凍霜害及びひょう害技術対策(令和8年3月13日一部修正)」を参照してください。

URL <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#kisyuu>

事前対策としては、防霜資材を準備するとともに、地温の上昇を図るため下草は5cm程度に刈り込みましょう。また、空気や土壌が乾燥している場合は適宜かん水を実施し、土壌水分を確保しましょう(乾燥条件は気温の低下が著しいため)。

なお、降霜による被害が見られた場合は、被害状況を確認の上、人工受粉を徹底し結実確保を図りましょう。特に、花粉がない若しくは少ない品種においては、注意が必要です。

4 病虫害防除上の留意点

本年の発芽日は、ももで平年より2日早く、今後の生育は平年より早まる見込みです。

時期が遅れないように注意し、週間天気予報を確認しながら、温暖無風の日を選んで確実に実施しましょう。また、耕種的防除を徹底し発生密度の低減を図りましょう。

(1) 全体

カイガラムシ類の発生が増加しています。発生が多い園地では、ワイヤーブラシなどで越冬部位をよくこすり落としましょう。

近年は春期の極端な高温により、病害の孢子飛散時期や感染時期、害虫の発生時期が早期化する事例が確認されていますので、昨年病虫害の発生が多かった園地では、越冬状況や活動状況をよく観察しましょう。

(2) りんご

近年、腐らん病の発生が多くなっています。休眠期の防除を徹底するとともに、発病部は削り取るかせん除しましょう。

輪紋病の発生が多い園地等で枝幹にいぼ病斑が見られる場合は、病患部を削り取りましょう。

うどんこ病によるボケ芽等はせん定時に除去し、第一次伝染源の密度低下を図りましょう。

ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多い園地では、発芽前の防除を徹底しましょう。

(3) もも・ネクタリン

縮葉病に対しては、発芽前（りん片がゆるむころまで）に防除を実施しましょう。

モモせん孔細菌病春型枝病斑の発生予測モデルによると、今春の発生は平年よりやや少ないと予測されています（3月6日付け令和7年度病害虫発生予察情報・発生予報第16号）。春型枝病斑は発芽10日後ごろから発生が見られる場合があるため、**病斑の早期発見とせん除及び開花直前の防除を徹底し、春型枝病斑からの感染防止を図りましょう。**

コスカシバの発生が多い園地では、縮葉病防除後にフェニックスフロアブル500倍を樹幹部及び主枝に散布しましょう。

また、ハダニ類、カイガラムシ類、アブラムシ類の発生が多い園地では、発芽前の防除を徹底しましょう。

ハマキムシ類の発生が多い場合は、開花前に防除を実施しましょう。ただし、有機リン剤等の訪花昆虫に影響がある薬剤を使用する場合は使用時期に注意しましょう。

(4) なし

黒星病及びハダニ類に対して、発芽10日前までに石灰硫黄合剤10倍を散布しましょう。特に、前年にニセナシサビダニ等の越冬病害虫が多発した園地では散布が必要です。

また、黒星病の枝病斑は伝染源にはなりません、枝病斑が見られる枝では芽基部感染の可能性があるので、枝病斑の有無を十分に確認しながらせん除しましょう。

黒斑病の越冬伝染源（枝病斑、ボケ芽）は、せん定時に取り除きましょう。

ハダニ類やカイガラムシ類の発生が多い場合は、発芽10日前までの石灰硫黄合剤に替えて機械油乳剤95又はハーベストオイルを使用し防除を行います。樹勢が低下した樹には使用しないよう注意しましょう。

(5) ぶどう

晩腐病や黒とう病の防除のため、前年の房の取り残し部分、巻きひげ、結果母枝の枯死部などを丁寧に除去し、越冬病原菌密度の低下を図りましょう。なお、巻きひげ除去の専用器具を用いることで、効率的な除去が可能です（参考：令和5年度参考となる成果）。

また、晩腐病に対しては、休眠期の防除を徹底しましょう。

前年にハダニ類の発生が多かった園地では、休眠期に防除を実施しましょう。

病害虫の発生予察情報・防除情報

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

URL: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行: 福島県農林水産部農業振興課 農業革新担当 TEL 024(521)7344
(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>